

災害調査団に是非ご参加ください

スマホを使って災害調査（河川堤防） 説明会

公益社団法人 地盤工学会

副会長・災害連絡会議 座長 岡村 未対

JGS災害連絡会議 今後の災害調査の方針

河川堤防

- ・ 地震, 浸透, 侵食, 洗掘, 土砂移動など
対象は広く, 未解明な事象が多い
- ・ 学際領域の研究であり, 近年活発化

斜面災害研究

- ・ これまでも多くの被害調査
- ・ 影響要因の多さ, 複雑な問題
- ・ 外力(雨量データ)の精緻化

現象の解明, 予測の高精度化, 構造物の信頼性向上は社会的要請

被害調査

- ・ JGSには災害調査団を組織的に派遣する仕組み(災害連絡会議)
- ・ 堤防の被害調査が近年本格化
- ・ 調査内容の不統一, 写真を撮る程度のものも多い, 紙ベースのデータ
→ 多くの会員の参加を得て, 広範にデータ取得

潜在的な調査団員

データ利用の高度化に向けて

データの蓄積と活用

- ・ 災害時の迅速な情報発信
- ・ データサイエンス, データ駆動アプローチ
- ・ データのオープン化
- ・ データプラットフォームの整備

令和2年10月から始動します(河川堤防から)

事前登録

発災

調査団設置決定

調査団組織
広く学会員から募る

調査の遂行
緊急調査, 詳細調査

- ・ 令和2年10月の災害から始動します(堤防が先行)。
- ・ **災害調査経験のない方でも, 是非ご参加ください**
くただし個人会員(正会員, 学生会員) >
お住いの地方での発災時に, 貢献したい...
- ・ 国交省地方整備局等との災害調査協定: 9支部中の7支部で締結済み。北陸支部, 四国支部も10月中(見込み)。

- ・ 災害連絡会議
(座長・幹事長・専門委員)
- ・ 地方委員

- ・ 災害連絡会議
- ・ 地方委員,
- ・ 地方連絡委員

- ・ 地方委員
- ・ 調査団員(会員)

詳細調査情報

- ・ 「災害調査データの集積と活用委員会」
- ・ 調査団
- ・ 堤防, 斜面災害の研究者・実務者, 情報科学分野

タイムリーに
社会へ発信

緊急調査情報の共有

- ・ 調査団, 団員(会員)
- ・ 地方委員, 地域委員
- ・ 災害連絡会議専門委員会

調査中にリアルタイムで情報の共有
: 調査の効率化, 多くの会員の参加



公益社団法人
地盤工学会

事前登録から調査までの流れ

参加資格：地盤工学会の個人会員（正会員，学生会員）ならどなたでも

事前登録

- 学会登録フォーム
<https://form.os7.biz/f/123839ef/> にアクセス，登録

事前登録は2020年10月19日(月)13:00より開始

- 折り返しJGSからメール送信される
- LINE/DIAS登録用URLにアクセス，
LINE/DIASに登録。
水系別QRコードの情報が送られる。緊急調査時にこのQRコードをLINEで読み込んで調査を実施
- JGSのHPからガイドライン，詳細入力フォームをダウンロード。事前に目を通し，準備。

河川堤防災害調査団申込

必要事項をご記入の上、確認ボタンをクリックしてください。

このフォームは、2020/10/19 13:00 より受付を開始します。

河川堤防災害調査団申込	
姓名	必須 (姓) (名)
フリガナ	必須 (セイ) (メイ)
メールアドレス	必須
会員番号	必須
所属先	必須

このフォームは、2020/10/19 13:00 より受付を開始します。

すぐに登録完了メールが届きます。
万が一、3分以内にメールが届かない場合は、
迷惑メールフォルダに振り分けられているか
可能性ありますので大変お手数ですが、ご確認をお願いします。

DIAS

地盤工学会 「スマホを使って災害調査（河川堤防）」ユーザ登録

全ての項目に記入下さい。

姓 名

所属

メールアドレス

メールアドレス(再入力)

登録

DIAS

地盤工学会 「スマホを使って災害調査（河川堤防）」QRコード一覧

以下のQRコードをLINEの友達追加で読み取ってご利用下さい。

北海道	
常呂川水系	
東北	
最上川水系	
関東	

事前登録から調査までの流れ

- JGSのHPからガイドライン, 詳細入力フォームをDL。
- 事前に目を通し, 準備

(DL用のページは **2020年10月19日(月)13:00より開始**)



目次	
1章 はじめに	1-1
1.1 目的	1-1
1.2 調査器具	2-2
1.3 注意点	3-3
1.4 緊急災害調査団の組織	4-4
2章 堤防被害調査	5-5
2.1 緊急調査	5-5
2.2 詳細調査	8-8
2.3 (参考)本組詳細調査	11-11
3章 調査状況の報告	12-12
3.1	12-12
3.2	12-12
4章 参考資料	13-13
4.1 水害調査ガイドライン(案), 土木学会水工学会水害対策委員会水害調査WG, 2016	
4.2 河川管理者のための浸透・侵食に関する重点監視の手引き(案), 河川のポイントから避難動向発令等の判断まで, 国土交通省水管理国土保全局河川保全企画室, 2015	
参考文献	14-14

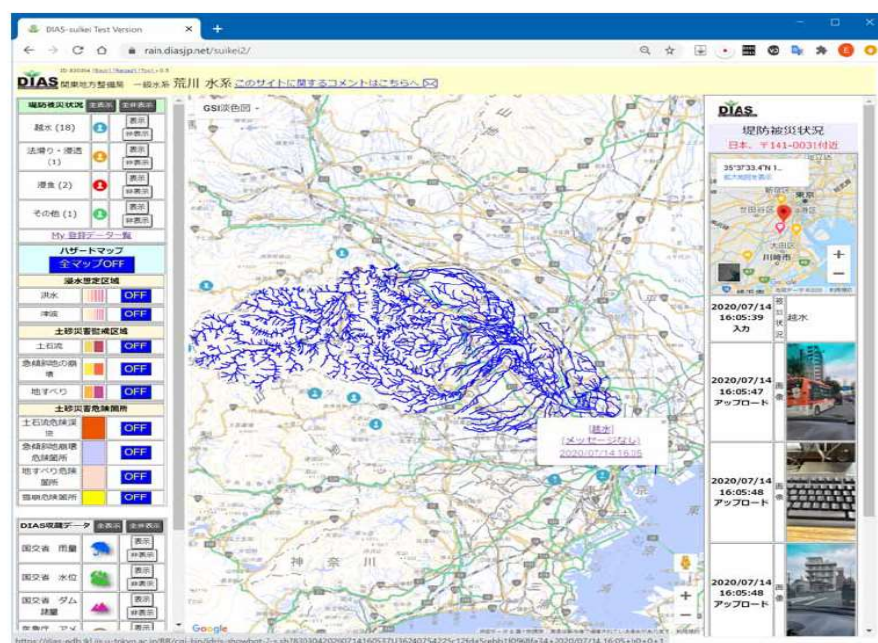
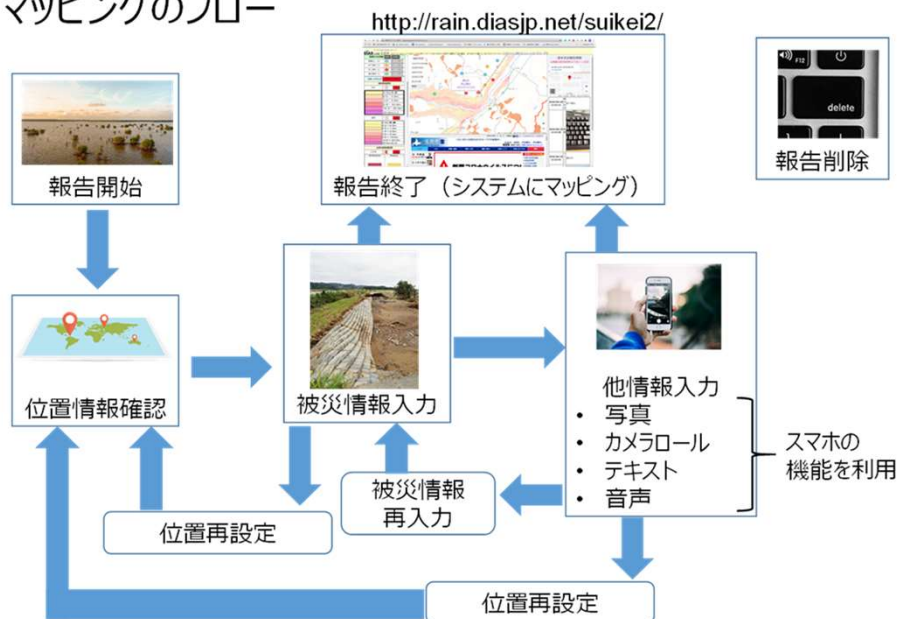
報告者		備考	
所属	〇〇大学		備考
代表者氏名	堤防 築造		
携帯番号	090-XXXX-XXXX		
email	XXXXXXXXX@XXXX.XXX.XX		
確認日時		備考	
確認日	2020/8/6		その他、特徴的なこと。 落掘の大きさ・深さ。落ち掘りで見られる土質。
確認時刻	15:30		
変状位置		備考	備考
緯度	38.6213	少なくとも緯度経度、河川名+距離標、目標物のいずれか1つを記入。GPS情報付き写真添付で省略可。 一連の被災区間が長い場合には、中央付近の位置を入力する。	備考
経度	140.3536		
水系名	最上川		
河川名	最上川		
距離標	R81.4		
距離標からの位置	+100		
目標物	〇〇橋		
目標物からの位置	400m下流右岸		m
構造物諸元		備考	一連の変状の内で最も深刻な変状の程度
堤防の種類	樋門周辺	選択式	備考
付帯設備	☒ 高水敷 ☐ 低水護岸 ☒ 高水護岸 ☒ 天端舗装 ☐ ドレーン ☐ 堤脚水路 ☐ 危機管理型法尻ブロック ☐ 側帯 ☒ 小段 ☒ 裏法尻擁壁		
その他情報	裏法尻：空石積み高さ1m	例えば、擁壁があれば、構造と高さを記入。その他、特徴的なものがあれば。	法肩や天端に達するすべりの場合 ・噴砂
堤体土	不明		
堤防高さ(m)	5	おおよそ	
法勾配(割)	2	おおよそ	
被災時最高水位		備考	200
越流の有無	有		一連の変状の内で最も深刻な変状の程度
越流水深(m)			
河川の最高水位(m)	1.5	天端からの下がり	
堤内地湛水位(m)	0	法尻からの高さ	
その他	川表法肩付近に逆越流による侵食の痕跡あり		備考
その他		管理者が撮影した漏水状況の動画あり。地元の方によると過去にもたびたび漏水していたとのこと。	

発災，調査団の設置から調査

- 事前登録会員にメールで連絡
- (他の会員にも参加呼びかけ)
- スマホで水系別QRコードを読み込んでLINE/DIASを立ち上げ
- 踏査しながら被害/無被害，水位情報などを100-200m毎に入力
- 全体の調査状況を確認しながら調査地点を移動
- 被災地点では詳細調査を実施
フォームに入力し，後日報告



LINEとwebポータル(DIAS)による被災状況報告・マッピングのフロー



被災地点では詳細調査 (R3からはWEB入力フォーム)

報告者		備考
所属	〇〇大学	
代表者氏名	堤防 築造	
携帯番号	090-XXXX-XXXX	
email	XXXXXXXX@XXXX.XXX.XX	
確認日時		備考
確認日	2020/8/6	
確認時刻	15:30	
変状位置		備考
緯度	38.6213	少なくとも緯度経度、河川名+距離標、目標物のいずれか1つを記入。GPS情報付き写真添付で省略可。 一連の被災区間が長い場合には、中央付近の位置を入力する。
経度	140.3536	
水系名	最上川	
河川名	最上川	
距離標	R81.4	
距離標からの位置	+100	
目標物	〇〇橋	
目標物からの位置	400m下流右岸	
構造物諸元		備考
堤防の種類	樋門周辺	選択式
付帯設備	☒ 高水敷 ☐ 低水護岸 ☒ 高水護岸	
	☒ 天端舗装 ☐ ドレイン ☐ 堤脚水路	
	☐ 危機管理型法尻ブロック ☐ 側帯	
	☒ 小段 ☒ 裏法尻擁壁	
	その他情報 裏法尻：空石積み高さ1m	例えば、擁壁があれば、構造と高さを記入。その他、特徴的なものがあれば。
堤体土	不明	
堤防高さ(m)	5	おおよそ
法勾配(割)	2	おおよそ
被災時最高水位		備考
越流の有無	有	
越流水深(m)		
河川の最高水位(m)	1.5	天端からの下がり
堤内地湛水位(m)	0	法尻からの高さ
その他	川表法尻付近に逆越流による侵食の痕跡あり	

災害連絡会議構成(令和2年度)

座 長(副会長) 岡村 未対
 幹事長(総務部長) 岸田 潔
 幹事(調査研究部長) 高橋 直樹
 幹事 野田 利弘
 幹事 石井 裕泰
 幹事長代理 永田 満枝

専門委員

複合災害 安田 進
 地震災害 金谷 守
 降雨時の斜面崩壊 鈴木 素之
 降雨時の河川の洪水 小高 猛司
 火山災害 千葉 達朗
 地すべり 上野 将司
 地盤沈下・陥没 渡部 要一
 雪氷・雪崩 河島 克久
 津波 富田 孝史

地方委員

北海道 石川 達也
 東北 風間 基樹
 北陸 大塚 悟
 関東 清田 隆
 中部 八嶋 厚
 関西 渦岡 良介
 中国 畠 俊郎
 四国 ネットラ バンダリ
 九州 安福 規之

地方連絡委員

北海道
 上川・網走地方 山下 聡
 十勝・根釧地方 宗岡 寿美
 道央・道北地方 石川 達也
 日高地方 中村 努
 胆振・後志地方 木幡 行宏
 渡島・桧山地方 佐野 侑房

青森県 片岡 俊一
 秋田県 荻野 俊寛
 岩手県 山本 英和
 山形県 奥山 武彦
 宮城県 山口 晶
 福島県 中村 晋
 新潟県 大塚 悟
 富山県 古谷 元
 石川県 宮島 昌克

茨城県 榎本 忠夫
 栃木県 清木 隆文
 群馬県 若井 明彦
 埼玉県 桑野 二郎
 千葉県 塚本 良道
 東京都 渡邊 健治
 神奈川県 規矩 大義
 山梨県 後藤 聡

静岡県
 愛知県
 三重県
 岐阜県
 長野県

福井県
 滋賀県
 京都府
 大阪府
 和歌山県
 奈良県
 兵庫県
 広島県
 岡山県
 山口県
 島根県
 鳥取県

徳島県
 香川県
 愛媛県
 高知県

福岡県
 佐賀県
 長崎県
 熊本県
 大分県
 宮崎県
 鹿児島県
 沖縄県

北 勝利
 張 鋒
 酒井 俊典
 沢田 和秀
 梅崎 健夫
 荒井 克彦
 深川 良一
 渦岡 良介
 河井 克之
 江種 伸之
 三田村 宗樹
 鳥居 宣之
 森脇 武夫
 小松 満
 鈴木 素之
 志比 利秀
 中村 公一

蔣 景彩
 山中 稔
 ネットラ バンダリ
 原 忠

石蔵 良平
 日野 剛徳
 蔣 宇静
 椋木 俊文
 工藤 宗治
 末次 大輔
 酒匂 一成
 松原 仁

多くの地盤工学会員の皆様に 登録・参加いただきますようお願いします

※ 常呂川のQRコードで練習していただけます。
(R2.11月まで)

※ 河川堤防が先行していますが、
R3年からは斜面災害も始動する予定です

